



能林業機械を組み合わせた作業システムの導入など、効率的な森林整備が計画されており、事業の効率性が認められる。

- ・有効性： 本事業により、森林の有する公益的機能の持続的な発揮が期待されるとともに、その効果の発現により、地域の基幹産業である農水産業の振興や森林吸収源対策に寄与するため、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：宗谷森林計画区(宗谷森林管理署)

(単位：千円)

| 大 区 分       | 中 区 分  | 評 価 額      | 備 考 |
|-------------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益      | 洪水防止便益   | 6,469,553  |     |
|             | 流域貯水便益   | 1,992,326  |     |
|             | 水質浄化便益   | 7,242,637  |     |
| 山地保全便益      | 土砂流出防止便益   | 8,729,255  |     |
| 環境保全便益      | 炭素固定便益   | 3,215,459  |     |
| 木材生産等便益     | 木材生産経費縮減便益                                       | 71,259     |     |
|             | 木材利用増進便益   | 31,522     |     |
|             | 木材生産確保・増進便益                                      | 709,407    |     |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林管理等経費縮減便益                                      | 27,994     |     |
|             | 森林整備促進便益   | 908,193    |     |
| 総 便 益 (B)   |  | 29,397,605 |     |
| 総 費 用 (C)   |  | 3,651,685  |     |
| 費用便益比       | $B \div C = \frac{29,397,605}{3,651,685} = 8.05$ |            |     |

# 森林環境保全整備事業 宗谷森林計画区 事業概要図(宗谷森林管理署)

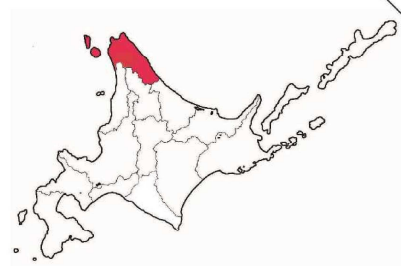


## 森林整備

更新面積 353 ha  
保育面積 15,910 ha

## 路網整備

開設延長 15.8 km  
改良延長 該当なし



| 凡 例       |  |
|-----------|--|
| 国 有 林     |  |
| 主 要 山 岳   |  |
| 鉄 道       |  |
| 森林計画区界    |  |
| 市 町 村 界   |  |
| 森 林 管 理 署 |  |